

第24回 看護研究発表会

平成28年1月15日(金)
神奈川工科大学 ITエクステンションセンター

講評：水戸 優子 氏 (神奈川県立保健福祉大学 看護学科教授) / 座長：篠原 充子 氏 (東名厚木病院 看護部 看護副部長)

今年度も昨年に引き続き、県立保健福祉大学教授の水戸 優子先生に講評していただきました。実践に役立つ看護研究についての説明後に、各演題について丁寧に講評をいただきました。「統計分析はどの方法がよいか、質的研究でのカテゴリー分類方法、文献の記載方法、研究タイトルの表現はどうしたらよいか。」等具体的に説明がありました。「患者により良い看護実践につながる看護研究を嫌いにならずに、これからも続けてください。」と励ましをいただき、より質の高いケアと研究を目指したいと思えます。

1席 認知症患者に対する看護師の認識と関連する要因	大和市立病院
2席 外来化学療法における部署間連携の現状と課題	厚木市立病院
3席 早期脳梗塞患者のクリニカルパス作成について	近藤病院
4席 障害者病棟での皮膚剥離予防の試み	桜ヶ丘中央病院
5席 心を元気にするケア	みどり野リハビリテーション病院
6席 150床の私立病院における～ヒヤリハット・事故の気がかりな事項	愛川北部病院
7席 脳梗塞後遺症により嚥下障害が遷延した患者に対する短期嚥下訓練入院の成果	東名厚木病院
8席 退院支援調整看護師の教育的関わりにおけるリンクナースの行動変容の要因分析	海老名総合病院
9席 看護師の介護保険制度に関する認識調査	平成26年度県央地区看護部長会



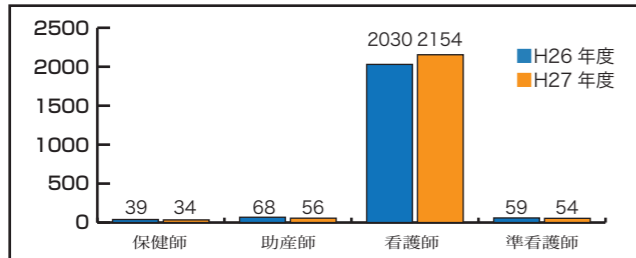
地域連携ケアシステム構築にむけた取り組みと特定行為研修の活用に参加して

仁厚会病院 石嶋 澄子 小林 佐和子

去る11月7日、坂本すが先生による研修会が開催され、仁厚会病院より看護師長・教育委員・看護師総勢10名出席させて頂きました。看護における最近のトピックスの中で家族の介護のために離職する事に歯止めをかける政策である「介護離職ゼロ」に関して、自分の解釈が誤っていたことがわかり、とても勉強になりました。

- ①社会でどのような変化がおきているか
- ②看護の将来のビジョンと現実に向けた日本看護協会の活動
- ③これからの看護職に求められるもの、以上3つの学習をしました。2025年問題において、「75歳以上で急激に受療率が高まる」・「日本の死因・疾病構造は非感染性疾患にシフトしていく」ことなどグラフをもって詳しく解説して頂きました。なかでも「死亡場所の推移で自宅で死亡する割合の増加から、在宅で亡くなる場合に特定行為研修の修了した看護師が医師または歯科医師の判断を待たずに、一定の診療補助を行うことが可能になる」という見解については驚かすにはいられませんでした。そして地域包括ケア推進や訪問看護の体制強化の観点より「生活と医療を結び付ける、これが出来るのは看護師しかいない。」という坂本先生の言葉から、今後の看護師の担う部分の多さに身が引き締まる思いでした。今回の研修では坂本先生にはパワーをたくさん頂きました。ありがとうございました。

平成27年度 神奈川県看護協会 県央支部会員数 ※平成27年12月現在



平成26年度(2196名) → 平成27年度(2298名) ※102名増加
看護協会に入会しましょう

編集後記 梅の花が咲き始め河津では桜と菜の花が春を告げています。会員の皆さまはいかがお過ごしでしょうか？今年度の県央支部では例年の行事の他ビッグレスキューや相模原支部との合同研修会をおこないました。ビッグレスキューでは地域のかたたちと協力しながら災害時の訓練をおこないました。これからの地域医療に向け皆さまも色々な行事に参加してみたいはいかがでしょうか。(星野)

県央支部看護だより

大和市 綾瀬市 厚木市 海老名市 座間市 愛川町 清川村

第36号 発行 公益社団法人神奈川県看護協会 県央支部 発行責任者：直井 ひろみ



ごあいさつ 県央支部長 直井 ひろみ

会員の皆様には、ご健勝でご活躍のことと喜び申し上げます。また、日頃より神奈川県看護協会県央支部活動、運営のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。2015年6月には大幅な役員交代がございましたが、皆様のご協力により予定しておりました支部活動も無事終了することができました。有難うございました。

さまざまな地域で地域包括システムに向けた取り組みが活発化しています。県央保健医療圏においても、地域医療構想、他職種の連携会議が昨年よりスタートしており、市町村による地域包括ケアシステムの構築及び在宅医療の推進、在宅医療と介護の連携体制を進めるため、2016年より推進会議が設置されます。今後は地域住民の疾病構造の把握等を含め地域の医療提供体制の効率化を図り、看護が担う役割「生活と医療を結びつけるのは看護師」、看護の担い手は看護職であることにスポットをあて確立することが重要と考えます。医師をサポートするのは看護職です。2016年は飛躍の年です。看護職の役割をしっかりと確立していきましょう。さらなるご支援を宜しくお願い申し上げます。

平成27年度 神奈川県看護協会 県央支部活動報告

- 活動目標
- ①地域住民の健康保持・増進に貢献できる
 - ②看護協会のPR活動を通して会員の増加を図る
 - ③看護職の生涯学習を支援し看護の質の向上を目指す

項目・開催日・発行月	内 容	会 場	参加者・発行部数
定例支部役員会 12回	各事業・予算の計画案	・アミューあつぎ 9回 ・神奈川県立工科大学IT エクステンションセンター2回 ・支部長施設 1回	役員 9名
臨時会議	ビッグレスキュー・県・市合同防災訓練 支部合同研修開催会議	・厚木福祉センター ・相模原医師会館	役員 9名 役員 4名
県央支部だより 平成28年2月 支部大会及び講演会 平成27年6月26日(金)	年1回(会員) 平成26年度事業報告・会計報告 平成27年度事業報告・会計報告 講演会 テーマ 肺理学療法基礎・呼吸のアセスメント 講師 湘南厚木病院 米国呼吸療法士南雲 秀子氏	・神奈川県立工科大学IT エクステンションセンター	参加数 65名 会員 60名 非会員 5名
エキスパート活動	第1回 6月26日 ・情報交換と今後の活動内容の検討 ・メンバーリストを活用し、実態調査の内容等についてメンバー内で検討 第2回 9月18日 ・新規登録者の悩みを引出し、助言を与えられる。 第3回 平成28年1月15日 ・県央地区のエキスパートの実態調査結果	・アミューあつぎ 3回	登録数 31名(8名増) 認定資格者31名 登録施設 10施設(1施設増) 登録資格 14認定(1施設増) 参加 延人数21名
看護フェスティバル まちの保健室 平成27年11月8日(日)	あつぎ国際大道芸2015協賛 ・体脂肪測定・血圧測定・血管年齢測定・看護協会PR	・厚木中央公園	延人数 58名 雨天により訪問数減
支部合同研修会 平成27年11月7日(土)	テーマ 地域連携ケアシステム構築に向けた取り組み 特定行為研修の活用について 講師 公益社団法人日本看護協会 会長 坂本 すが氏	・ユニコムプラザさがみはら	参加数 71名 会員 69名 非会員 3名
看護研究発表会 平成28年1月15日(金)	第24回県央支部看護研究発表会 講師 神奈川県立保健福祉大学 看護学科 教授 水戸 優子氏 座長 東名厚木病院 副看護部長 篠原 充子氏	・神奈川県立工科大学IT エクステンションセンター	参加数 78名 会員 68名 非会員 8名 一般 2名
ビッグレスキュー 平成27年8月30日	県・市合同防災訓練	・ぼうさいの丘公園	役員参加 9名

神奈川県看護協会県央支部
2015年度(順不同・敬称略)

エキスパートナーズ交流会登録者一覧

Table with 4 columns: 資格, 所属施設, 資格, 所属施設. Lists various nursing qualifications and their respective affiliated facilities.

14認定 31名 9施設(2015)

平成27年度の活動内容

- ① 第1回「情報交換と今後の活動内容の検討」
② メーリングリストを活用し、実態調査の内容等についてメンバー内で検討。
③ 第2回「新規登録者の悩みを引き出し、助言を与えられるミーティング」
④ 第3回「県央地区のエキスパートの実態調査結果について検討」

エキスパートナーズ交流会に登録し活動の幅を広げましょう!

県央支部では、エキスパートナーズが所属施設や認定団体を超えて交流できる機会を提供するとともに、充実した活動ができるような支援を続けたいと考えています。

平成28年度登録受付期間：5月～10月

(所定の用紙を看護協会ホームページからダウンロード)

申込先 海老名総合病院 沼倉 ひろ子 宛
(お問合わせ先) TEL 046-233-1311 FAX046-232-8934



支部大会



神奈川県看護協会会長 篠原 弘子氏をお迎えして2025年を見据えた協会の取り組みのご紹介をいただき、こころを新たにしたい一時でした。

平成27年度 県央支部役員紹介



【5名が役員交代となり神奈川県県央支部を支えていただきました。】

Table with 3 columns: 担当, 氏名, 施設名. Lists the names and positions of the executive members and their respective facilities.

講演会

平成27年6月26日、湘南厚木病院の米国呼吸療法士、南雲秀子氏による講演会を開催いたしました。「肺理学療法の基礎、呼吸のアセスメント」をテーマとし、フィジカルアセスメントを基にリアルタイムで患者の呼吸状態を評価できるように演習を交えながら講演していただきました。肺音は人によって異なることが多いので、色々なパターンで聞き分けてみると良いことや、呼吸リハビリテーションと呼吸理学療法は同じではないといった部分のお話も聞けました。自己のスキルアップに繋がる有意義な時間となりました。 桜ヶ丘中央病院 鈴木 路世



湘南厚木病院 米国呼吸療法士 南雲秀子氏

「まちの保健室」

27年11月8日あつぎ大道芸が開催され、イベント会場にてまちの保健室を開催いたしました。当日はあいにくの雨で来場者も少なく、昨年に比べて参加人数は58名と昨年の3分の1以下でした。

内容としては、血圧測定・体脂肪測定・健康相談・パンフレットの配布を行いました。テントの中も水浸しになってしまう状況の中、厚木看護専門学校の子供さんたちは明るく優しく地域の方に接していられたことが印象深く感じ、いい看護婦さんになるだろうと思いました。

まちの保健室学生さんが感じたことは...



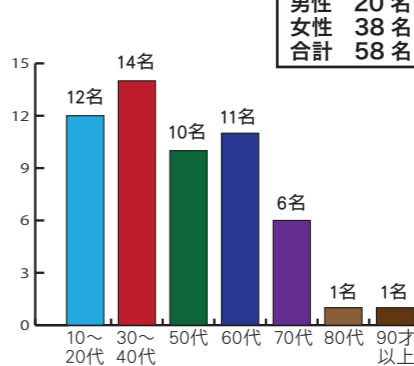
◆まちの保健室に参加させていただきました。血圧測定は家庭用血圧測定器が浸透しているためか自身の血圧値をご存じの方が多く関心の高さが伺えました。体脂肪測定は測定値や脂肪量に驚かれています。

◆看護師さん達の配慮の自然さに感動しました。生の看護師さんに関わる機会が持てよかったです。また、看護協会としてまちの保健室をやっているのだという所属意識と看護師としてみられるという体験をし、看護師になることへの自覚を一步進めることができたのではないかと思います。

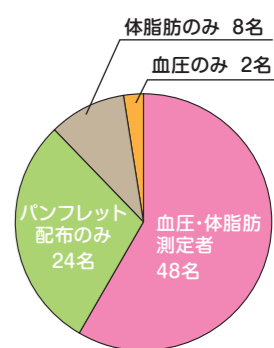
◆パンフレットを配る中で多くの方とふれあいコミュニケーションをとる良い機会となり、勉強になりました。また、看護師さんの臨機応変な対応や言葉かけ、連携を間近で見ることができ今後の実習などに活かしていきたいと感じました。



年齢別



測定の種類別



男性 20名
女性 38名
合計 58名

ビッグレスキュー

県・市合同防災訓練

平成27年8月30日 ぼうさいの丘公園

8月30日(日)都心南部直下地震、マグニチュード7.3、最大震度6強を想定し、神奈川県と厚木市が合同で行う総合防災訓練「ビッグレスキューかながわ」に参加しました。県央支部役員8名が参加したぼうさいの丘公園での訓練内容は、野外炊事支援訓練、野外入浴支援訓練、医療救護所設置・運営訓練、多数遺体収容設置・運営訓練で、その中の医療救護所でのトリアージ後の傷病者への対応を行いました。災害時の対応や防災について考える機会になったとともに地域での訓練に参加する貴重な体験ができた1日でした。

